

# わたしの議会。



9月21日(木)答志小学校3・4年生の皆さんが本会議場を見学に訪れました。

鳥羽市議会各種SNS



## とば市議会だより 目次

8月7日会議報告……………	2	9月会議一般質問……………	8～10
令和4年度決算の概要……………	3	鳥羽の日条例の制定について……………	11
9月会議常任委員会報告……………	4～6	きらり輝く人達、他……………	12
9月会議議員別表決結果……………	7		

## 議会報告

8月7日に「上告及び上告受理の申立てについて」の議案1件を審議しました。

### 行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第14号 上告及び上告受理の申立てについて

・名古屋高等裁判所令和3年（ネ）第480号土地総有権確認等請求控訴事件について、令和5年7月26日に言い渡された判決に対して不服があるので、最高裁判所へ上告及び上告受理の申立てを行うため、地方自治法第96条第1項第12号の規定により議会の議決を求める。

〈内容〉  
相手方住所氏名  
〒517-0004  
三重県鳥羽市菅島町3番地  
被告人兼相手方（一審原告）  
菅島町内会 上記代表者  
木下吉久  
事件名 土地総有権確認等請求  
上告及び上告受理申立事件  
申立名 最高裁判所

**問** 上告及び上告受理の申立ての理由について市長の思いは。

**答** 上告する理由としては、市の利益を考えこれまでどおり土地の所有が市の利益だと考え、それに向かって対処するのが私の役割だと思っている。訴えられてそれに答えたという事は、最後までやって結論をすっきりさせたいということなので、途中でやめるというのはありえない決断だと思っている。

**問** 今回の議案は、最高裁判所に判断を委ねるかどうかを問うているものなのか。

**答** おっしゃるとおりである。法的な部分であるため、最高裁判所に判断してほしいという意味で議案をあげている。



### 令和5年8月7日会議

### 議員別表決結果

○：賛成 ×：反対  
-：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	世古雅人	山本欽久	中村浩二	瀬崎伸一	南川則之	濱口正久	山本哲也	河村孝	戸上健	木下順一	坂倉広子	尾崎幹	世古安秀
14	上告及び上告受理の申立てについて	8月7日	可決	○	×	○	○	×	○	○	議長につき表決なし	○	○	○	×	×

## 年賀状の自肅申し合わせについて



市議会では、「市議会議員」としての年賀状を自肅することを申し合わせておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。



令和4年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定ほか、鳥羽市印鑑条例の一部改正についてなど、執行部提案議案12件、請願2件、発議3件を審議しました。

## 議会報告

# 令和4年度決算の概要

- ポストコロナを見据えつつ、地方創生臨時交付金等を活用し、物価高騰の影響などを受けている市民生活や事業所に対する支援として、とば市民応援券の発行や誘客促進、キャッシュレス決済の推進などの事業に取り組んだほか、増高する給食食材費や光熱水費等への対応を図りました。
- ふるさと納税寄付金については、ポータルサイトの増設などにより、前年度比1億2,265万4千円増の8億7,987万9千円となり、過去最高額を更新したことに加え、新たに企業版ふるさと納税制度を活用し、2,520万円のご寄付をいただくなど、自主財源確保の取組を推進しました。

令和4年度の決算は、一般会計で実質収支が6億2,073万円の黒字となりましたが、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支では2億4,929万8千円の赤字となりました。

また、特別会計では実質収支において国民健康保険事業で6,687万1千円、介護保険事業で3,628万9千円、後期高齢者医療で539万5千円の黒字となっており、5事業の合計で1億855万7千円の黒字となりました。

令和4年度における一般会計、特別会計の決算状況は下表のとおりです。

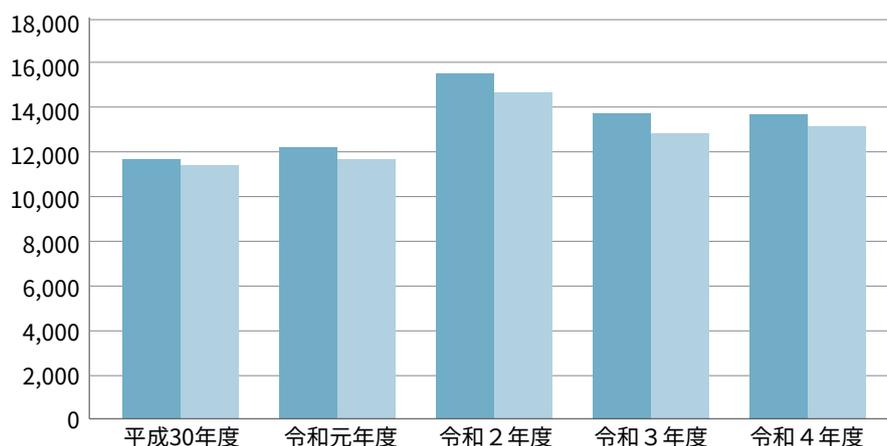
### 令和4年度会計別決算状況

(単位：千円)

区分		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額 (形式収支)	翌年度へ 繰り越す べき財源	実質収支	令和3年度 実質収支	令和4年度 単年度収支
会計		A	B	C (A-B)	D	E (C-D)	F	G (E-F)
一般会計		13,599,950	12,971,925	628,025	7,295	620,730	870,028	△ 249,298
特別会計	国民健康 保険事業	2,812,953	2,746,082	66,871	0	66,871	95,028	△ 28,157
	介護保 険事業	2,790,702	2,754,413	36,289	0	36,289	52,732	△ 16,443
	定期航 路事業	784,917	784,916	1	0	1	1	0
	特定環 境保 全公 共下 水道 事業	153,574	153,213	361	360	1	1	0
	後期高 齢者 医 療	541,613	536,218	5,395	0	5,395	5,115	280
	小計	7,083,759	6,974,842	108,917	360	108,557	152,877	△ 44,320
合計 (一般+特別)		20,683,709	19,946,767	736,942	7,655	729,287	1,022,905	△ 293,618

### 一般会計決算規模の推移

(単位：百万円)



	歳入	歳出
平成30年度	11,671	11,241
令和元年度	12,078	11,730
令和2年度	15,401	14,888
令和3年度	13,709	12,825
令和4年度	13,600	12,972

・議案質疑・

認定第1号

令和4年度鳥羽市一般会計及び各特別会計  
歳入歳出決算認定について

中村浩二

コロナ禍対応事業の効果は

市長

観光客数に表れている

**問** 本市の重点施策の一つであるコロナ禍対応の事業費の総額はどれだけか、また、予算執行による復活効果はどのようなものがありましたか。

**答** 市長 コロナ関連の事業に総額8億2000万円を超える金額を支出しています。効果については、観光客数を挙げることができるのではないのでしょうか。令和3年度では約266万人まで落ち込みましたが、令和4年度では、令和元年度の8割程度となる約356万人まで回復し、入湯税なども回復基調となっています。一つの指標として着実に効果が表れてきているところだと考えています。

# 常任委員会報告

●各常任委員会に10議案と2請願が付託されました。

## 行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第20号 鳥羽市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

●鳥羽中央公園に芝生広場を整備すること等に伴い、鳥羽市民体育館及び鳥羽中央公園多目的グラウンドの利用料金について、所要の改正を行う。

**問** 芝生広場は多目的グラウンドに入るのか。

**答** 多目的グラウンドの利用料金に含まれない誰もが入れる場所となる。ただし、都市公園となるため、芝生広場を占有したい場合は、鳥羽市都市公園条例に定められている料金となる。

### 【改正後の各施設における利用料金】

●鳥羽市民体育館サブアリーナ（1時間あたり）

営利又は宣伝を直接目的としない場合	フロア	1,000円
	屋内ステージ	500円
	屋外ステージ（壁面スクリーン及び付帯照明設備含む）	500円
営利又は宣伝を直接目的とする場合	フロア	10,000円
	屋内ステージ	5,000円
	屋外ステージ（壁面スクリーン及び付帯照明設備含む）	5,000円

●鳥羽中央公園多目的グラウンド

入場料金等を徴収しない場合	2時間につき	一般	1,000円
		小・中学校	500円
入場料金等を徴収する場合	1日につき	150,000円	

●鳥羽市民体育館冷暖房

サブアリーナ	フロア	1,400円
	屋内ステージ	700円

## 予算決算 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

認定第1号 令和4年度鳥羽市  
一般会計及び各特別会計歳入歳  
出決算認定について

審査終了後の委員間討議で  
委員から出された主な意見

### 企画財政課

政策推進・調整事業において  
作成したプロモーション動画を  
より多くの市民に周知し、継続  
してアピールしてほしい。  
また、移住定住に関する事業  
においては移住に偏りすぎてお  
り鳥羽に住む人に目を向け、少  
しも市民が転出していかない  
ような施策も考えてほしい。



鳥羽が目指す地域  
共生社会とは？  
ぜひこちらのQR  
コードから動画を  
ご覧ください



### 総務課

職員の健康管理業務において、  
有給休暇の取得しやすい職場環  
境の改善に努めてほしい。

### 健康福祉課

集落支援員事業において、支  
援員として活動していただける  
方は見つけにくく、推進してい  
けるような予算措置を図り、発  
掘して事業に結び付けてほしい。  
また、保育所運営事業におい  
ては、所管事務調査の間取りで  
消耗品購入や修繕対応に苦慮し  
ているとの報告があったことか  
ら、対応できるような予算措置を  
求める。

### 農林水産課

鳥獣害対策事業において、市  
民は苦勞しており、できる限り  
手厚く支援してほしい。

漁業者応援事業においては、  
鳥羽市は海女のまち条例を制定  
していることから、海女も含む  
漁業者の応援に努めてほしい。

### 建設課

市営住宅の管理について、空  
き部屋の入居を図り、整備や解  
体も含め有効活用してほしい。

また、道路維持管理について  
更なる予算の確保を求める。

### 教育委員会総務課

小学校及び中学校の管理業務  
において、教職員の住宅や遊具  
を含めた教育環境の整備につい  
て、適切な管理を求める。

### 学校教育課

教育振興事業におけるコミュ  
ニティディレクターの配置を  
しっかりとしてほしい。

### 生涯学習課

図書館において、障がいのあ

る児童などに配慮した対策が  
あってもよいのではないか。

### 定期船課

定期航路は離島住民にとって  
離島への唯一の公共交通であり、  
その維持にしっかりと取り組ん  
でほしい。

### 提言書の提出

昨年度に引き続き今年度も提  
言書を市長に提出しました。



提言書はホームページでも公  
開しています。(内容の詳細は左  
のQRコードからご覧いただけ  
ます)



議案第15号 令和5年度鳥羽市  
一般会計補正予算(第4号)

〈補正予算の内容と質疑応答〉

● 集落支援員事業(坂手地区)  
(複数の集落支援員による  
チームを作り、地元町内会の  
活動と連携した防災のための  
調査などの活動を通じて、高  
齢者世帯とつながる、積極的  
な見守りに取り組むための費  
用を補正)  
…107万3000円

問 集落支援員の具体的な取組は  
何か。

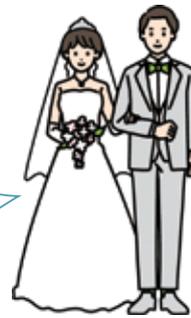
答 町内会では高齢者の把握がで  
きておらず、まず防災面から  
実態を把握することを第一と  
したい。

〈補正予算の内容と質疑応答〉

● 鳥羽への移住・定住応援事業  
(若年層の結婚に伴う新生活  
の経済的負担を軽減すること  
で、少子化対策及び移住定住  
促進を図るため、新生活に係  
る住居費、引っ越し費用等の  
一部を補助する費用を補正)  
…300万円

問 予算額を300万円とした根  
拠は何か。

答 過去の婚姻届けの提出状況か  
ら29歳以下の世帯で4件、39  
歳以下の世帯で2件と見込  
み、300万円とした。



対象世帯 夫婦ともに  
39歳以下かつ世帯所得  
500万円未満の新婚世  
帯  
交付上限額 30万円  
(夫婦ともに29歳以下の世  
帯は60万円)

〈補正予算の内容と質疑応答〉

● 保育所運営事業(保護者と保  
育士の負担を軽減するため、  
使用済み紙おむつを持ち帰る  
ことなく、保育所で処理でき  
るようにするための費用を補  
正)  
…360万5000円

問 使用済み紙おむつの収集運搬  
業務は恒久的に行うのか。  
できる限り続けていきたい。

答

〈補正予算の内容と質疑応答〉

● とばっ子カード事業(18歳  
以下の子どもを持つ子育て  
世帯を対象に発行している  
「とばっ子カード」の電子化  
に係る費用を補正)  
…120万円

問 協賛店舗での利用が少ない  
と感じるので、より多く利  
用してもらえような対策  
を練ってほしい。

答 スマホ登録によりスマホに  
協賛店舗がマップ上に表示  
できるようになり、そのサー  
ビス内容もみることができ  
るようになる。また、この  
事業の真のねらいは保護者  
とデジタルでつながること  
ができるので、これをきつ  
かけに子育てのDX化を図  
りたい。



とば子育て応援キャラクター  
ジュジュ

スマートフォンの  
LINE画面に「と  
ばっ子カード」を  
表示させることで、  
紙のカードを持ち  
歩かなくてもこれ  
までのサービスを  
受けることができ  
ます!

人事

教育委員会委員の任命に同意

奥村 楠治 氏

公平委員会委員の選任に同意

大久保有規 氏

議案番号	議案名	議決日	審議結果	世古雅人	山本欽久	中村浩二	瀬崎伸一	南川則之	濱口正久	山本哲也	河村孝	戸上健	木下順一	坂倉広子	尾崎幹	世古安秀		
15	令和5年度鳥羽市一般会計補正予算(第4号)	9月25日	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
16	令和5年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
17	令和5年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
18	鳥羽市印鑑条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
19	鳥羽市立海の博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
20	鳥羽市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
21	令和4年度鳥羽市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
22	令和5年度鳥羽市一般会計補正予算(第5号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし	○	○	○	○	○	
23	教育委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
24	公平委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
請願1	子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員を求める意見書の提出を求める請願		採択	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	○	
請願2	鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める請願書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
認定1	令和4年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
認定2	令和4年度鳥羽市水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
発議3	みんなの鳥羽の日条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	○	
発議4	子どものために保育士の労働条件等改善による増員を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	-	○	○	
発議5	鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
報告4	令和4年度鳥羽市健全化判断比率の報告について		報告につき採決なし															
報告5	令和4年度鳥羽市定期航路事業特別会計資金不足比率の報告について																	
報告6	令和4年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について																	
報告7	令和4年度鳥羽市水道事業会計資金不足比率の報告について																	
報告8	一般財団法人鳥羽市開発公社の経営状況の報告について																	

これが知りたい・ここが聞きたい

# 一般質問



9月5日に5人の議員が一般質問を行いました。  
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。



各議員の動画はこちらからご覧いただけます↑

日程	議員氏名	項目
9月5日(火)	はまくちまさひさ 濱口正久	鳥羽市の福祉関係における地域共生社会実現のための3つの柱「つながる」「稼ぐ」「社会資源の有効活用」について
	とがみ けん 戸上 健	敬老施策について マイナンバーカードについて 自衛隊への名簿提供について
	みのみがわのりゆき 南川則之	本市の道路環境整備と土砂災害防止対策について 危険なブロック塀の撤去について
	せこまさひと 世古雅人	台風や豪雨による冠水等の危険箇所における今後の対策や情報伝達方法について 暴風警報等における町内会等への避難所運営への協力要請について 市営定期航路の欠航判断とその際の離島住民等への対応について
	さくらひろこ 坂倉広子	障がい者等の投票環境の向上について 不登校児童生徒への支援について

## 包括支援センターの 相談件数は

健康福祉課長

令和4年度の件数は  
延べ2498件で  
増加している

**問** 健康福祉の分野において、「地域共生社会の実現」に向けて必要と考えられる事は何でしょうか。

**答** 健康福祉課長 地域共生社会の実現に関わる様々な組織がつながりを持ち、課題の共有や活動の連携が図られていることが大切であり、また、支援する組織にあっては断らない相談、切れ目のない支援を意識した姿勢でいることも重要と考えています。

**問** 支援を必要とする高齢者やご家庭の相談窓口として、包括支援センターが中心となり対応していますが、過去3年間の相談件数はどうなっていますか。

**答** 健康福祉課長 令和2年度の総合相談の件数は延べ1792件です。令和3年度の件数は延べ1945件、令和4年度の件数は延べ2498件で増加しています。

**答** 健康福祉課長 高齢者施策としては、介護予防の推進、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進を基本的な方向性として取組を進めています。総合相談での相談件数は年々増加していますが、入口の機能として重要性が増しており、今後も充実していく必要があると考えています。



はまくちまさひさ  
濱口正久



タクシー運賃や電動自転車の購入補助を含む敬老事業を



市長

効果があるのであれば、検討はしていきたい

**問** 大紀町のタクシー運賃等助成事業は、年間利用回数24回、月2回利用でき、助成額は利用料金の2分の1、1回の乗車で1000円までです。高齢者電動アシスト自転車購入補助金は購入費用の2分の1、上限5万円で、免許を自主返納した町民には2万円加算して7万円補助金が出ます。大紀町のようなタクシー運賃の補助や電動自転車の購入補助を含む新たな敬老事業を何か考えていますか。

**答** 市長 大紀町の例なども、今後の推移や、効果がどんなものなのか、大紀町はそれを未来永劫続けていく腹をくくってやっているのか等を勘案して、効果があるのであれば、検討はしていきたいと思えます。

自衛隊への名簿提供の時期は

市民課長

直近では令和5年3月10日である

**問** 本市における自衛隊への名簿提供について、人数、時期、本人承諾の有無はどうなっていますか。

**答** 市民課長 直近の提供では、令和5年3月10日に、自衛官募集に伴う広報の資料として、鳥羽市全地区の平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの男女150人分及び平成13年4月2日から平成14年4月1日生まれの男女154人分を提供しています。本人承諾は、法令上必要ないとの解釈から取っておりません。



9番 戸上 健 議員

町内会・自治会からの要望の積み残しは

市長

積み残しと言われないよう応えていきたい

**問** 中村市長就任7年目となる中で、町内会・自治会からのインフラ整備に関する要望の積み残し件数は115件ということですが、市長はこの要望の積み残しをどのように考えていますか。なぜ市民の要望を叶えてやらないのですか。

**答** 市長 当然地域で精査されて上げてこられるものですので、深刻なものが多いかと思っています。積み残しと言われないように応えていきたいと思っています。

**問** 要望の一つの例として、本町町内会長より、江戸川乱歩館がある付近の市道において路面陥没が発生しており、道路整備の要望がありますが、道路管理者として適正な管理となっていますか。

**答** 市長 全てに対応することは不可能だというふうには思っていますが、なるべく地域の方の要望にはお答えできるよう、全てのことを勘案した中で、限りある予算の中から対応



みなみがわのりゆき 南川 則之

していくように頑張っていきたいと思えます。

**問** 6月2日の豪雨では河内町の片岡屋付近の水路から越流し、民家が床下浸水する状況となり、土砂も約10立米以上を取ったという話を聞いています。土砂災害防止の対応をすべきと思いますが、いかがですか。

**答** 市長 豪雨により地域の被害に遭われた方にとっては、本当に深刻な状況だと思いますので、しっかりと対応していきたいと思えます。



路面陥没が多くなってきている市道本町商船学校線

## 定期航路の欠航は どのように決めるのか



せごまさひと  
世古雅人

定期船課長

台風の場合、海上保安部より避難勧告が発令されると欠航となる

問 お盆の8月14日に定期航路が欠航となったが、欠航はどのように決められるのですか。

答 定期船課長 台風の場合は、鳥羽海上保安部から船への避難準備勧告、避難勧告の順に勧告が発令されます。避難勧告が発令された場合は、勧告に従い全航路を欠航することに なります。

問 欠航の決定を離島住民にいつ、どのように周知しましたか。

答 定期船課長 14日の早朝に避難勧告の発令を確認できたため、速やかに鳥羽メールとホームページで発信し、同時に各離島での町内放送において住民への周知を行いました。

問 欠航決定後の周知ではなく、避難準備勧告が発令された段階で各離島の町内会や漁協等に連絡できるように検討してください。

冠水監視カメラ導入の考えは

市長  
現時点では市独自での設置は考えていない

問 被害が出そうな豪雨や強風の中、遠隔で確認が可能な機器を活用すれば、災害現場に行くことなく情報収集や伝達ができるなどの利点があります。市民等への情報提供の一助として、冠水監視カメラなどを導入する考えはありますか。

答 市長 現時点では市独自での定点カメラの設置は考えていませんが、県管理道路については、県と相談していきます。



1番  
世古雅人 議員

## 移動期日前投票所や移動支援 サービスに取り組み考えは



さかくらひろこ  
坂倉広子

総務課長

研究していく必要があると考えている

問 令和元年9月議会においてお聞きした、大型ショッピングセンターへの期日前投票所の設置について、その後の研究結果はどうなりましたか。

答 総務課長 実施に当たり、費用や人員調整の課題があること、また、借用できるスペースや期間の問題などのハードルもあり、なかなか実現に至っていない状況です。今後も引き続き投票所の在り方について検討していきたいと考えています。

問 地域での投票が困難な方々への投票支援として、移動期日前投票所や福祉的な移動支援サービスに取り組む考えはありますか。

答 総務課長 どういった方法がベストであるか、双方併せて研究していく必要があると考えています。

COCOLOプランを  
踏まえた取り組みは

教育長  
まずは教育支援センターHARPの充実を図りたい

問 文部科学省が令和5年3月31日に発表したCOCOLOプランを踏まえ、今後どのように取り組んでいきますか。

答 教育長 まず、第一に教育支援センターHARPの充実を図りたいと思っています。また、不登校に至る前段階の早期発見と早期対応が非常に重要になると思いますので、教職員の「チーム学校」をしっかりと機能させ、本人だけでなく家族も巻き込んだ中で相談活動をしっかりと充実し、それから家庭と生徒に寄り添うことを大事にしていきたいと思っています。



COCOLOプランでは、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していくことを目指し、不登校の児童生徒全ての学びの場の確保などがうたわれています

# 「みんなの鳥羽の日条例」 を制定しました



「鳥羽の日」、「鳥羽の月」は、平成25年に鳥羽青年会議所が市内事業者の皆様に呼びかけ、取組を行ったことから始まりました。鳥羽市は同年9月に認定証を交付し、以降も情報発信や補助金などの支援を続けてきました。

そして「鳥羽の日」、「鳥羽の月」の取組が年々盛り上がりを増していることから、鳥羽市では10月8日を「鳥羽の日」とする記念日登録を一般社団法人日本記念日協会に申請し、本年10月1日に正式登録されました。

また、鳥羽市議会ではこの流れを受け、3月より議会改革推進特別委員会において、10月8日を「鳥羽の日」として定める条例の策定に向けて協議を進めてまいりました。

「鳥羽の日」、「鳥羽の月」に関わる団体からの後押しや、パブリックコメントの実施を経て、9月25日の本会議において、「みんなの鳥羽の日条例」の制定に至りました。(9月29日施行)



## みんなの鳥羽の日条例

鳥羽市は、その美しい自然環境や豊かな歴史・文化を誇りとし、地域の活性化と魅力向上を図るために、みんなの鳥羽の日条例を制定する。

(目的)

第1条 この条例は、鳥羽に関係する全ての人及び団体等が幸せを実感し、鳥羽の魅力を広く知らせ、地域の活性化を図ることを目的とする。

(鳥羽の日)

第2条 鳥羽の日は、10月8日とする。

(協力・連携)

第3条 鳥羽に関係する全ての人及び団体等が鳥羽のことを思い、考え、第1条の目的達成に向け、協力・連携し鳥羽の日を楽しみ、盛り上げるよう努めるものとする。

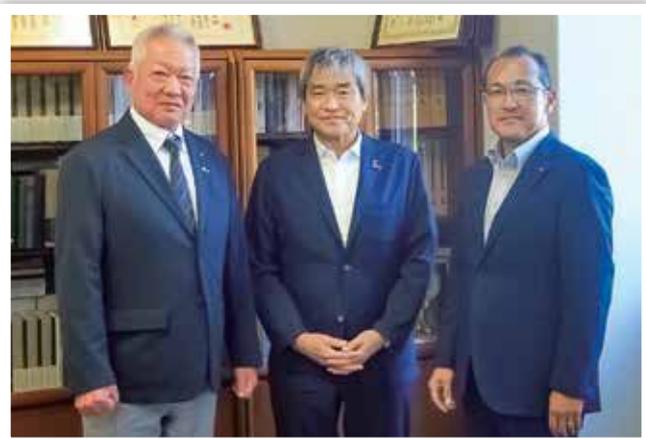
附 則

この条例は、公布の日から施行する。

# きらり輝く人達

きらりと輝いている鳥羽の人達にスポットをあてる企画です。

今回は、TOBA ミライトークの申し込みがあった鳥羽商工会議所の皆さんにお話を伺いました。



左から中村副会頭、中村会頭、小田副会頭

## プロフィール

### 鳥羽商工会議所

会頭 なかむらまさと 中村正人さん 副会頭 よしだかずき 吉田一喜さん  
副会頭 おだのりひこ 小田徳彦さん 副会頭 なかむらかずひろ 中村和寛さん

鳥羽商工会議所は「商工会議所法」に基づいて設立・運営されている公益法人で、地区内の商工業の総合的な改善発達を図るとともに、社会一般の福祉の増進に資することを目的に事業活動を行う「地域総合経済団体」です。

TOBAミライトークを申し込まれた経緯について教えてください。

鳥羽商工会議所は地域に残る歴史や文化を活かしたまちづくりに取り組んでいます。10年後の鳥羽のまちづくりに対して強い危機感を持っています。しかし、その危機感が行政に伝わらず、ミライを見据えた事業の実現の兆しが見えてきておりません。ミライトークを通じて鳥羽市議会と課題・現状認識を共有し、解決策を模索していければと思います。

鳥羽市議会に期待することは何ですか。

議会には、議会基本条例に謳われているとおり、二元代表制の理念に基づき、市民の意見を把握し、政策提案等を通じて市政に反映するよう努めてほしい。

特に、現在、民間主導で「中心市街地まちづくり計画」を進めており、権限機能を有する市行政へ、説明・要望を重ねています。議会はその機能を十分に発揮し、行政側のアクションへとつなげてほしい。

11月に実施されるミライトークが、10年後の「活気あふれる鳥羽市」の実現に向けたきっかけとなることを期待します。

## 編集後記

わたしの議会。(とば市議会だより)第185号をお届けします。今年度より広報広聴委員会副委員長に就任しました。人に物事を伝えるということは大変難しいことであると思っています。「わたしの議会。」を通じて、市民の皆さんとの距離感を更に近づけられるように、努めていきます。また、TOBAミライトークも積極的に開催し、鳥羽市の未来について語り合いたいと考えています。今後の鳥羽市を皆さんと一緒に作っていくのが我々の願いです。そこに向けて頑張っていきますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

やまもとよしひさ  
記 山本欽久

広報広聴委員会  
委員長 濱口正久  
副委員長 やまもとよしひさ 山本欽久  
委員 せこまさひと 世古雅人  
委員 なかむらこうじ 中村浩二  
委員 やまもとてつや 山本哲也  
委員 かわむらたかし 河村孝  
委員 さかくらひろこ 坂倉広子